

幕別町消費者被害防止 ネットワークニュース

第101号



SNSを悪用した「投資詐欺」や 「ロマンス詐欺」が流行中です！

[投資詐欺の事例] (報道より)

70代女性がインターネット上の投資広告にアクセスしたところ、SNSチャットグループに招待された。グループ内の著名人のアシスタントを名乗る人物から金投資(世界で共通の価値がある貴金属「金」に投資すること)を勧められた。他の人の「儲かった」と言われるがまま、何度も指定口座へ振り込んだ後、突然相手と連絡が取れなくなつた。

[ロマンス詐欺の事例] (報道より)

60代男性がSNSチャットを通じて外国人女性とやり取りをしているうちに、投資サイトを勧められた。男性は女性に対して好意を持っていたため、紹介された投資サイトに登録し、顧客担当者から言われたとおり指定口座に10万円振り込んだ。サイトを確認すると利益が出ていたので、その後も何度も口座へ振り込んだが、突然相手と連絡が取れなくなつた。

他にも恋愛感情や親近感を抱かせ、贈り物を受け取るための送料や税金、保険料、渡航目的の費用などの様々な理由で金銭を要求される事例が増えていきます。

アドバイス

- 著名人を名乗る、またはつながりがあるといって安心感を与え、金融商品を勧誘する事例が増えています。
- 相手が身分証明書をSNS上で見せてきて、偽造されている可能性があります。
- 振込先口座が個人名義の場合
- SNS上で知り合った、面識のない相手からの金銭の話は詐欺を疑いましょう。
- 金融商品などで絶対に儲かるという投資話はありません。

画面は、相手が作った偽の画面です。

この詐欺事例のポイント



相談事例紹介「スタート」ボタン、実は海外事業者の広告かも!?

今月の相談

鉄道会社の予約サイトを検索し、表示された「スタート」を押してクレジットカード情報を入力すると、鉄道会社に無関係の海外有料サイトのサブスクライブ(定期購入)の登録をされてしまった。クレジットカードは利用停止手続きをしたが、サブスクライブションは解約するべきか。

海外有料サイトでは、一定期間までに解約の申し出をしなければ、定期的な継続契約として料金が発生することが多いので、なるべく早く解約を申し出る必要があると伝えました。

また、クレジットカード番号変更後も請求が発生する可能性があるため、CCT(越境消費者センター)では、解約することを推奨しており、CCTのホームページに掲載されている例文に従って解約通知を行なうように助言しました。

翌日、相談者から『例文通りにメールを送ったところ、事業者から『リクエストに従つてキャンセルされました』とメールが届き解約が確認できました』と連絡がありました。

今回の相談のように、サイトに表示された広告の「スタート」「OK」などのボタンを押して個人情報を入力すると、英文の登録完了メールが届いたというトラブルが多発しています。

クレジットカード番号などの個人情報を入力する際は、利用規約を必ず確認し、利用規約が見つからない、外国语で理解できない場合は個人情報を入力しないようにしましょう。

また、「会社概要」などで、会社名、所在地、連絡先などの事業者情報を確認し、事業者情報が見つからない場合は契約を避けましょう。

問 幕別町消費生活センター(☎ 55-5800)

地区	相談受付	場所
札内	月曜～金曜	午前9時～午後4時 (札内:第1・3・5水曜は午後7時まで)
幕別	火曜・木曜	札内コミュニティプラザ 消費生活センター 役場1階相談室
忠類	第2・4水曜	忠類コミュニティセンター

見守り 新鮮情報



©Kurosaki Gen

投資を考えていたら、有名経済評論家主催の投資相談のSNS広告が表示された。100万円が1億円になったとの体験談に惹かれメッセージアプリに登録すると、評論家のアシスタントを名乗る人から投資話が届いた。有名な評論家なら信用できると思い100万円を振り込むと、利益を増やすため100万円を追加するよう言われ、別の口座へ振り込んだ。その後も次々と勧められ総額1500万円を振り込んだ。運用状況を確認すると6千万円の利益が出ていたので引き出そうとしたら、手数料や税金約2200万円を支払わないと出金できないと言われた。（60歳代）

被害回復は困難! SNS上で著名人を名乗る 投資話の勧誘に注意

ひとこと助言

なりすましに注意！



- SNS上で、消費者を信用させるために、著名人本人に無断で名前や写真を使用した投資勧誘が横行しています。著名人の公式サイトや公式アカウント等で注意喚起が出ていないか、まずは確認するようにしましょう。
- 投資資金の振込先に個人名義の口座を指定された場合は詐欺です。絶対に振り込まないでください。相手と連絡が取れなくなるなど被害回復は困難です。安易に資金を振り込むことはやめましょう。
- 不安に思ったら、振り込む前にお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください（消費者ホットライン188）。